

—役員会報告—

《平成12年度日本気象学会北海道支部役員会報告》

1 平成12年度第1回理事会

(「細氷46号」106～107頁で報告済)

2 平成12年度第2回理事会

(1) 日 時：平成12年11月7日(火) 14時30分～17時00分

(2) 場 所：札幌管区气象台

(3) 出席者：巽、志賀、山崎、村松、若原、木部、遊馬、石渡、小林、網蔵、上野、安達

(4) 支部長挨拶(省略)

(5) 議 事

ア 平成12年度第1回理事会報告(議事録)

イ 平成12年度支部事業報告(中間)

平成12年度支部事業の実施状況について事務局から報告された。

(ア) 支部総会及び第1回研究発表会について報告された。総会の委任状は、定足数の改訂(会員の1/2以上)に伴い、一般会員にハガキを使用し、回収率が60%と高率であったため、次回からは全会員に適用することとした。

(イ) 第18回夏季大学講座は7月26日(水)、27日(木)に開催され、その経過及び予算収支について報告された。最近は受講者数(定員50名)が減少傾向にあることから、広報の強化等に努めることとした。

(ウ) 気象講演会は10月28日(土)に江別市の酪農学園大学で開催され、その経過及び予算収支について報告された。今回は参加者数が例年より少なかったため、次回からは開催地を市内に限定することとした。また、広報の強化等今後の検討課題とした。

(エ) 「細氷46号」は予定どおり9月末に発行した。次号については写真訪問等を追加するなど内容を検討することとした。

ウ 平成12年度予算収支(中間)報告

平成12年度の収支について事務局から中間報告があり、一部修正を行うことで了承された。

エ 平成13年度気象講演会

来年度は、函館市において開催することとした。

オ 日本気象学会2002年秋季大会

日程は平成14年10月9日(水)～11日(金)とし、会場は北海道大学学術交流会館及び百年記念会館とする。

カ 第3回理事会の開催日程

第3回理事会は例年どおり3月上旬に北大で開催することとした。

キ その他

上田理事の支部転出に伴う辞任のため、上田理事の推薦により遊馬幹事長が理事に就任することが理事会で承認された。

3 平成12年度第3回理事会

(1) 日 時：平成13年3月16日(金) 15時30分～17時45分

(2) 場 所：北海道大学ファカルティハウス「エンレイソウ」第1会議室

(3) 出席者：巽、村松、藤吉、山崎、若原、木部、遊馬、石渡、川島、網蔵、上野、安達

(4) 支部長挨拶(省略)

(5) 議 事

ア 平成12年度第2回理事会報告(2項参照)

イ 平成12年度支部事業報告

平成12年度支部事業の実施状況について事務局から報告があり、了承された。

(ア) 平成12年度特別気象講演会は10月12日に北海道教育大学付属実践総合センターで開催され、その開催状況について報告された。

(イ) 平成12年度気象講演会は10月28日に江別市で開催され、その開催状況、予算収支について報告された。

(ウ) 第2回支部研究発表会が11月15日に北海道大学百年記念会館大会議室において開催され、その開催状況について報告された。

ウ 平成12年度予算収支(中間)報告

平成12年度の予算収支について事務局から中間報告があり、了承された。

エ 平成13年度支部事業計画(案)

平成13年度支部事業計画(案)が事務局から提案され概ね了承された。細部については次回の理事会で検討する。

(ア) 第19回夏季大学講座は札幌市青少年科学館と打合せを行い、例年どおり7月に開催する予定。会場は札幌市青少年科学館および北大低温科学研究所を予定。

(イ) 平成13年度気象講演会は函館市で開催、開催日を10月28日(土)とし、会場は次回理事会で決定する。また、テーマ・題目・講師の決定など具体的な作業については、今後担当で検討する。

平成13年度特別気象講演会は、北大が担当する。

(ウ) 「細氷47号」の刊行はほぼ例年の内容とし、「解説」、「写真訪問」、「気象業務紹介」等について執筆者を募り、具体的には次回理事会で決定する。

(エ) 平成13年度支部総会及び第1回支部研究発表会は6月8日(金)に、第2回支部研究発表会は11月中旬頃に行う予定。

4 平成12年度第1回幹事会

(「細氷46号」107頁で報告済)

5 平成12年度第2回幹事会

(1) 日 時：平成12年11月2日(木) 15時～16時50分

(2) 場 所：札幌管区気象台小会議室

(3) 出席者：遊馬、石渡、小林、網蔵、上野、安達

(4) 打合せ事項：平成12年度第2回理事会の議事内容について検討

6 平成12年度第3回幹事会

(1) 日 時：平成13年3月5日(木) 15時～17時00分

(2) 場 所：札幌管区気象台小会議室

(3) 出席者：遊馬、石渡、川島、小林、網蔵、上野、安達

(4) 打合せ事項：平成12年度第3回理事会の議事内容について検討

《平成13年度日本気象学会北海道支部役員会報告》

1 平成13年度第1回理事会

日 時 平成13年5月21日(月) 14時10分～17時10分

場 所 札幌管区気象台会議室

出席者 藤谷・村松・藤吉・山崎・松岡・西・遊馬・木部・石渡・網藏・小林・川島・上野・安達

2 支部長挨拶(省略)

3 議 事

(1) 理事・支部長の交替

4月の異動に伴う理事の交替について、下記のとおり報告された。

常任理事(支部長) 藤谷徳之助(札幌管区気象台 台長)

常任理事 松岡 直基(日本気象協会北海道支社調査部 部長代理)

理 事 西 道夫(札幌管区気象台 気候・調査課長)

(2) 平成12年度第3回理事会報告(議事録)

要旨について事務局から報告され了承された(細氷47号に掲載)。

(3) 平成12年度支部事業報告

平成12年度支部事業について事務局から報告され了承された。

(4) 平成12年度支部決算報告

平成12年度の収支について事務局から報告され了承された。

(5) 平成12年度支部会計監査報告

平成12年度支部会計監査結果について、本部会計監査から公正妥当に執行されている旨報告された。

(6) 平成13年度支部事業計画(案)

ア 平成13年度支部総会および研究発表会

支部総会・第1回研究発表会は、6月8日(金)北大低温科学研究所(講堂)、第2回研究発表会は11月下旬北大百年記念会館で開催することで、原案どおり了承された。

イ 第19回夏季大学講座(新しい気象)

7月25日(水)、26日(木)に開催、講演題数を4題とし、北大2題、日本気象協会北海道支社1題、札幌管区気象台1題を担当、また1日目は札幌市青少年科学館(2題)、2日目は北大低温科学研究所(2題)で開催(施設見学を含む)することで原案どおり了承された。

ウ 平成13年度気象講演会

13年度の気象講演会は、日程を10月20日(土)に変更し、函館市で開催、講演題数を3題とし「火山」「気象災害」「海」を題材とし、メインテーマは今後検討する。講演者は「火山」は北大大学院理学研究科岡田弘教授、「気象災害」は函館海洋気象台が担当、「海」は北大大学院水産科学研究科を候補として検討する。今回は函館海洋気象台と共催、また、後援機関は数を絞り厳選する。

エ 平成13年度特別気象講演会

13年度は、北大大学院地球環境科学研究科が担当、日時、開催場所および講師等については今後検討する。

オ 「細氷47号」の刊行

46号とほぼ同様の編集内容を基に刊行することで、原案どおり了承された。また、「解説」は気象台が担当する。

カ 支部理事会の開催

次回以降の理事会開催について、原案(第2回:気象台、第3回:北大)どおり了承された。

(7) 平成13年度支部予算(案)

事務局から提案説明があり、原案どおり了承された。

(8) 平成13年度支部総会

平成13年度支部総会次第について、原案どおり了承された。

2. 平成13年度第1回支部幹事会

(1) 日 時：平成13年5月14日(月) 15時～17時00分

(2) 場 所：札幌管区気象台小会議室

(3) 出席者：遊馬、石渡、川島、小林、網蔵、上野、安達

(4) 打合せ事項：平成13年度第1回理事会の議事内容について検討

3 その他

(1) 幹事長の交替

遊馬理事が兼任していた幹事長に、石渡幹事が就任することで承認された。これに伴い川島幹事が細氷の担当幹事に就任した。

(2) 秋季大会

日本気象学会2002年秋季大会の日程・開催場所の確認、準備委員会の立ち上げ時期およびシンポジウムのテーマ等について協議を行なった。

ア 日 程

平成14年10月9日(水)～11日(金)

イ 開催場所

北大学術交流会館および百年記念会館

ウ 準備委員会の立ち上げ時期

第2回理事会(9月頃予定)に合わせ開催する。準備委員は支部役員各位、「天気」北海道地区担当北大の向川氏およびシンポジウムの関係者1名を加え16名とする。

エ シンポジウム

シンポジウムのテーマ等については、役員各位が検討し、メール等により情報交換を行い、9月の第1回準備委員会で決定する。

オ その他

(ア) 幹旋業者

幹旋業者に依頼するが、業者を特定する場合は、経費負担の軽減を基に検討する。

(イ) 宿泊・交通機関の幹旋

宿泊・交通機関については、案内のみ行い、幹旋はしない。